

さん

医療的ケア児

# 災害対応 サポートハンドブック

**災害時にこのハンドブックを  
手にとられた方へのお願い！！**

- このハンドブックを持っている  
お子さまは何らかの医療的なケアを  
必要としています。
- このことを近くの医療スタッフに  
お伝えください。
- またお子さまやご家族が困っている  
事があればできる範囲でお手伝いを  
お願いします。

記入日      年      月      日

29東播T4-001A4

※無断転載を禁じます。

災害対応サポートハンドブックとは・・・

災害時に避難先や病院などで、医療関係者などの支援者が本人の基本情報や日常生活について知る事ができるツールとなっています。

また、このハンドブックを作成することで、災害時に多くの方の助けが得られ、災害の備えについて考えるきっかけづくりになれば幸いです。

- 誰を対象にしたものなの？  
何らかの医療的ケア（経管栄養・吸引・気管切開・人工呼吸器 等）を要するお子さま
- 誰が作成するものなの？  
お子さまの保護者がご自身で作成するものです。
- 記入にあたって
  - 不要なところは記入をせず、空白でも大丈夫です。
  - 分からないところがあれば関係者の方に相談しましょう。
- 内容に変更がある時はどうするの？
  - 内容に変更がある時はご自身で修正してください。
  - 年に1回は見直しをしましょう！  
(1月17日は阪神淡路大震災の日です。  
この日に見直すのもいいですね。)
- 作成後はどうするの？
  - 普段から持ちあるいておきましょう。
  - 作成したものは、学校の先生や地域の方などお子さまと関わりのある関係者の方にもコピーを渡すなどをして、お子さまのサポーターを作っておきましょう！！

# 〈わたしの基本情報〉

(ふりがな)

☆名前 \_\_\_\_\_

☆生年月日 \_\_\_\_\_

☆病名 \_\_\_\_\_

☆必要な医療的ケア \*ケア内容P4~

※あてはまるものに○をつけてください。

胃ろう 経鼻栄養 酸素吸入  
口腔内吸引 鼻腔内吸引 気管内吸引  
気管切開 人工呼吸器 その他 ( )

わたしの生活について知ってほしいこと！！

例えば・・・

話をするのは苦手ですが、理解出来ます。  
てんかん発作時に、バギングが必要なことがあります。  
体温調節が苦手なので、暑さや寒さに弱いです。 など



(ふりがな)

名前 \_\_\_\_\_

学校・園 \_\_\_\_\_

年生

わたしの写真

☆かかりつけの病院・診療所

\_\_\_\_\_ 病院・診療所 \_\_\_\_\_ 科 \_\_\_\_\_ 先生

\_\_\_\_\_ 病院・診療所 \_\_\_\_\_ 科 \_\_\_\_\_ 先生

☆住所

☆家の電話番号

☆家族の名前 (続柄)

電話 (携帯)



ひとつこと 災害時に助けてくれそうな祖父母や親戚も  
記入しておきましょう。

☆身長 cm

☆体重 kg <測定日 年 月 日>

☆サチュレーション (SpO<sub>2</sub>) %

☆体温調節 できる/ 難しい  
 普段の体温 夏季 °C / 冬季 °C

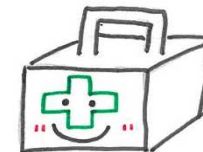
☆てんかんなど発作時の状態

( )

対応の仕方

( )

# 医療的ケアの内容



## ★胃ろう・経鼻栄養★

### ●方法

胃ろう 経鼻栄養

### ●胃ろうボタン及びチューブ

種類:

サイズ: Fr cm

固定水: ml

### ●経鼻栄養チューブ

種類:

サイズ: Fr cm

●注入ポンプ あり なし

## ★酸素吸入★

ℓ/分

(常時・夜間のみ・その他 )



ひとこと 胃ろうのチューブは予備を準備しておき、普段から持ち歩いておきましょう。

# 栄養剤等の 注入スケジュール



投与時間、投与内容、投与量、滴下速度、  
注意点を記入しましょう。  
栄養剤だけではなく経口摂取や水分についても  
記入しましょう。

(例) AM 7:30	〇〇を△△ml 滴下速度□□ml/H
----------------	--------------------

●注意点

## ★吸引★

	口腔内吸引	鼻腔内吸引	気管内吸引
吸引チューブ サイズ	Fr	Fr	Fr
吸引回数 (平均)	回/日or時間 (夜間 回)	回/日or時間 (夜間 回)	回/日or時間 (夜間 回)

●注意点

## ★気管切開★

- 気管カニューレ 種類  
サイズ (ID)
- 喉頭気管分離 あり なし

停電時・災害時に備えて知っておきましょう。



吸引器のバッテリー持続時間は  
連続使用で概ね 分です。



ひとこと 災害時に備えて手動・足踏み吸引器を  
準備しておきましょう。

## ★人工呼吸器★

- 離脱 可能（約 分） 不可
- 自発呼吸 あり なし
- 装着時間  
常時 夜間のみ 必要時（ ）

### <設定内容>

\*人工呼吸器の設定のコピー、呼吸器の設定パネルの写真などを貼り付けてください。

停電時・災害時に備えて知っておきましょう。



人工呼吸器の内部+外部バッテリーの持続時間は 時間です。



ひとこと 災害時に備えて予備のバッテリーを準備しておきましょう。

## ★その他の医療的ケア★

\*ケアの内容、物品の種類やサイズ、知っておいてほしいことを記入しましょう。

## <コミュニケーション方法>

例えば・・・絵カードやiPadを使っています。  
うなずきができます。

## <苦手なこと>

例えば・・・大きい音が苦手です。  
大勢の人の中が苦手です。

## <好きなこと>



## <食事>

### ●食事形態

普通 軟食 パースト 経管栄養  
(ミキサー) \*詳細はP4,5

### ●食物アレルギー

あり なし  
↓内容と注意点

### ●その他必要事項

例えば・・・スプーンで介助が必要です。









## \*災害時の避難先について 書いておきましょう！



### ●災害時の指定避難場所となっているところ

※それぞれの市町のホームページをチェックしましょう。



### ●災害時、安否確認や救助に役立つように、 通所先など自宅以外で日中にお子さまが

いるところを記入しましょう。 ※ 例 ○○療育センター

連絡先：△△△-××××



連絡先:



連絡先:



連絡先:

### ●その他 避難できる場所もあれば記入しましょう。

例 ○○病院、親戚の家



住所：

連絡先：



住所：

連絡先：

ひとこと 地域の医療救護所のある避難場所も  
調べておきましょう。



自宅周辺で起きる災害の被害想定の情報を知っておきましょう。

※それぞれの市町のホームページを  
チェックしましょう。

自宅周辺のハザードマップを見てみましょう！



## ●洪水

(例) 自宅周辺は1.0m~2.0m未満 (浸水の深さ)

## ●土砂災害

(例) 土砂災害警戒区域に指定されている

## ●地震

(例) 山崎断層帯地震 震度6強、南海トラフ地震 震度6強

## ●津波

(例) 0.3m~1.0m未満 (浸水の深さ)

## ●高潮

(例) 1.0m~2.0m未満 (浸水の深さ)

## ●その他

# さん サポーターリスト



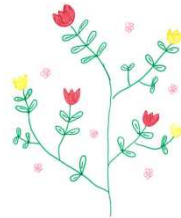
	施設名	担当者	電話番号
病院・診療所		先生	
病院・診療所		先生	
学校・園			
相談支援事業所			
訪問看護			
ショートステイ			
通所施設			



ひとこと 地域のみなさんにもお子さまの事を  
知っておいてもらいましょう。

H30.3 医療的ケア児個別災害マニュアル検討会作成  
※無断転載を禁じます。

～memo～



このサポートハンドブックは、平成29年度医療的ケア児個別災害マニュアル検討会において作成したものです。

検討会メンバー所属（順不同）  
あだちこども診療所、加古川市立加古川養護学校、加古川市立こども療育センター、  
加古川中央市民病院、障害児（者）支援施設こころ、地域支援センターあいあむ、  
まごころケア研究センター高砂、保護者代表、加古川市障がい者支援課、高砂市  
障がい・地域福祉課、稲美町健康福祉課、播磨町福祉グループ

加古川健康福祉事務所 地域保健課（事務局）

# 災害対応サポートハンドブック ～作成の手引き～



## ①書いてある内容に沿って書いてみましょう。

◇書く必要がない内容は空欄のままで構いません。

◇強調したいところはカラーペンで囲む等工夫してみてください。

◇わからない所があれば、関係者の方（医師、看護師、教諭等）に相談してみましょう。

内容について関係者の方に確認をしておいてもらうと良いですね。

## ②サポーターリストを記入するにあたって

◇普段からお子さまと関わっている関係者の方や、災害時に安否確認やお手伝いをしてくれるような地域の方など記入しましょう。

◇サポーターの方には、ハンドブックを作成したことやコピーをお渡しするなど伝えておきましょう。

## ③災害準備編を記入するにあたって

◇各市町のホームページで、地域のハザードマップや災害の被害想定を見ることができます。また指定避難所についても見ることが出来ます。自宅周辺の情報について確認し、記入しましょう。

◇各市町では災害時要援護者の登録やヘルプカードを作成することが出来ます。ぜひ活用してみてください。詳しくは各市町にお問い合わせください。

## ④記入が終わったら

◇原本はA4になっているので、2つ折りにしてA5の本型サイズになるよう作成してください。

◇ファイルにはさんだり、防水のために保存袋に入れるなど持ち運びが便利のように工夫してみてください。

◇必要だと思うものはサポートハンドブックと一緒にさむと便利です。（お薬手帳のコピー、ヘルプカードなど）

## ⑤完成後は？

◇普段から一緒に持ち歩いておきましょう。

◇完成したものは、学校の先生や地域の方などお子さまと関わりのある関係者の方にもコピーを渡しておくといいですね。

## ⑥内容に変更がある場合

◇内容に変更があれば、随時修正してください。

◇年に1回は内容の変更がないか見直しをしましょう。

（1月17日は阪神淡路大震災の日です。

この日に見直すのもいいですよ^o^）